

## 市立奈良病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床試験を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	既存椎体骨折の診断における半定量的測定法（SQ法）の信頼性についての検討
当院の研究責任者	所 属：整形外科 責任者：岩田 栄一郎
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	市立奈良病院 整形外科では「既存椎体骨折の診断における半定量的測定法（SQ法）の信頼性についての検討」という後ろ向き研究を行う予定です。近年の超高齢社会において脊椎椎体骨折（圧迫骨折）が増加しております。診断には一般的にレントゲンによるSQ法が用いられますが、診断法の信頼性を検討することは非常に重要です。本研究の目的は、脊椎椎体骨折を診断するSQ法の信頼性を検討して、脊椎椎体骨折の治療介入の判断基準に役立たせることを主な目的としています。
調査データの該当期間	2019年1月から2021年12月末まで
本研究の対象及び方法（使用する試料等）	今回の調査研究は、2019年1月から2021年12月末までに脊椎変性疾患の手術を行った患者様の診療録・画像検査を対象とします。過去の記録を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、患者様の負担並びに危険性は全くありません。
試料・情報の他の機関への提供	当院でこの調査研究を行い、得られた情報を使用致します。特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反はありません。
個人情報の取り扱い	使用するデータは、個人名や住所は含まれておらず、その他の個人情報に関しては、当院で厳重に管理します。また、研究で使用したデータは、当該研究の結果の最終の公表について報告された日から1年を経過した日まで保管します。保管期間終了後は、適切な方法で廃棄します。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	T E L：0742-24-1251 担当者：整形外科 岩田 栄一郎